

時代のニーズに応え 地域で必要とされるセラピスト養成へ

北海道医療大リハ科学部

地域包括ケアに参画できるセラピスト養成へ。北海道医療大リハビリテーション科学部は、3年生の選択科目として「地域包括ケア演習」を2015年度からスタートした。地域包括ケアシステムで求められているセラピストの役割などを伝えながら、地域の当別町内で行われている認知症カフェでフィールド演習。医療機関や介護施設・事業所の枠を超え、多職種・地域住民と連携しながら取り組む、地域リハの理解を深める場になっている。

15年度介護保険制度の改正で、介護報酬改定見直し・介護報酬改定指し、「地域で必要とされるリハ充実・強化が図られ、介護予防機能強化を目的に、セラピストの専門性を活用した「地域リハビリテーション活動支援事業」が新設された。厚生労働省検討会では、生活モデルや地域リハに対応した卒前教育の必要性が指摘されるなど、セラピストに対する期待はこれまで以上に高まっている。

「地域包括ケア演習」は、そうした時代の要請・ニーズに応えられようが運営する共生型

認知症カフェで フィールド演習も



「地域包括ケア演習」は、そうした時代の要請・ニーズに応えられようが運営する共生型

来月16日、学生企画・介護予防フェア開催

「地域包括ケア演習」は、そうした時代の要請・ニーズに応えられようが運営する共生型

本年度から「地域包括ケア演習」

切さを痛感していた。地域オープンサロンの動作や姿勢をさりげなく評価して対応を考

介護新聞

2015年(平成27年) 6月25日 毎週木曜日発行

発行所 株式会社北海道医療新聞社

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目(北海道医師会館)

☎011(221)7777 ホームページ <http://www.medim.co.jp>